

令和元年度 ウィークエンド青少年セミナー 実施報告④

実施日：令和元年 12 月 14 日（土）

今回は、総合教育センターで開催された開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の中で「とちっ子 あそび隊」の運営を行いました。

実習「自分たちも何かやってみよう！実践編」

～とちっ子 あそび隊の運営『学びの杜の冬休み』への参加を通して～

今までの研修では、学びを意識した子ども向けの遊びを企画、準備してきました。当日は、それぞれの班で協力しながら、自分たちの計画を基にブースを運営しました。受講者は、臨機応変に子どもたちの要望に応えたり、集客率を上げるための工夫をしたりなど、運営しながら試行錯誤していました。参加した子どもたちの笑顔を見ることができたということが一番の成果であり、受講者も充実感や達成感を味わうことができたようです。



受講者の感想より

- 子どもの目線に合わせて話すことで、より話がしやすくなったと思った。
- 体を使った遊びが、子どもたちに人気だった。
- 実際に自分たちのブースを運営して、遊んだ人たちが笑顔になってくれて嬉しかった。
- 今日の運営でチームの人と協力して一つの事を作り上げる達成感を味わうことができた。
- 企画したことを運営していくには、役割分担や時間の管理などがとても大切だと思った。
- 想定外のことに対応する柔軟性と対応力が大切だと感じた。
- 子どもには「やってあげる」のではなく、「どうしたらいいと思う？」と疑問を投げかけることで、考えて実践することができるのだと気付いた。
- 同じ年齢の人だけでなく、大学生や子ども、親子など様々な人とふれ合うことができた。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp